

アレルギー対応マニュアル

ありんこ親子保育園

制定日:令和 7 年 8 月 7 日

第1章 目的

本マニュアルは、食物アレルギーをはじめとする各種アレルギー疾患をもつ園児が、安全・安心に保育園生活を送るための対応方針と具体的な手順を明確にすることを目的とする。

第2章 基本方針

1. 事前情報の把握と共有の徹底
 2. リスク回避(除去・代替・誤食防止)の徹底
 3. 職員全体での共通理解と日常的な観察
 4. 緊急時対応体制の整備と訓練の実施
 5. 保護者との連携による安心の確保
-

第3章 入園前の確認と登録

- 入園面談時に、アレルギーの有無を詳細にヒアリング
 - 医師による診断書または「アレルギー対応指示書」を提出してもらう
 - アレルゲン、症状の程度(即時型／遅延型)、治療薬の有無(エピペン含む)を記録
 - 「アレルギー児リスト」を作成し、全職員に共有(個人情報保護に配慮)
-

第4章 給食・食材管理

1. 除去食・代替食の提供
 - 医師の指示に基づき、給食室と連携して安全な代替食を準備
 - 「個別アレルギー対応表(献立別)」を作成し、調理・配膳時に活用
 - 提供前に担任・調理担当者の3者で確認
2. 配膳の注意
 - アレルギー児の食器は色分け・ラベル等で明確化
 - 誤配膳防止のため、1人分ずつ別配膳
 - 配膳直前の最終確認は必ず2名以上で行う

3. 食材の管理

- 食材発注時・納品時にアレルゲン含有の有無を表示で確認
 - 調味料・加工食品の成分表示も必ず保管・記録
-

第5章 園生活における注意点

- 食事以外でも注意が必要な場面
 - 誕生日会・行事でのおやつ提供
 - 園外活動での持参弁当・外食
 - 粘土・絵の具・工作素材にアレルゲンが含まれていないか確認
 - 誤食リスクのある場面を事前に職員間で共有・注意喚起
-

第6章 緊急時の対応

【アレルギー症状の初期対応】

- 発疹、咳、くしゃみ、じんましん、嘔吐などの症状が見られたらすぐに応急対応
- 必要に応じて、救急セット(エピペン・吸入器・内服薬など)を使用
- 使用時は必ず管理職に報告し、保護者に即時連絡

2. 【重篤な場合(アナフィラキシーショックなど)】

- エピペンを即座に使用(職員の使用が可能)
- 119番通報・救急搬送(必要に応じて職員が同乗)
- 保護者に即連絡、搬送先病院での合流を依頼

3. 【報告・記録】

- 「アレルギー発症・対応記録」に詳細を記録

事後に職員会議で情報共有・再発防止策を検討

【エピペン使用手順】

1. 太ももの外側に垂直に押し当てる
2. カチッと音がするまで強く押す

3. 10秒間そのまま保持

4. 使用後は救急搬送

第7章 職員の研修と訓練

- 年1回以上のアレルギー対応研修(医療従事者による講習含む)**を実施
 - エピペン使用訓練・誤配膳防止ロールプレイを含む実地訓練を年1回実施
 - 新任職員には必ずマニュアル説明と個別対応児の情報を共有
-

第8章 保護者との連携

- 月ごとの献立表を事前配布し、必要な場合は保護者と確認・調整
 - 除去や変更がある場合は必ず文書で確認・記録を残す
 - 行事・調理保育等では別メニューの提供または家庭からの持参を依頼することも可
-

第9章 備蓄と保管

- アレルギー対応用医薬品(エピペン・内服薬など)は個別に保管し、場所・管理者を明確にする
 - 消費期限・使用可能期間を定期的に確認(毎月チェックリストで記録)
 - 緊急対応セット(保冷パック・体温計・記録用紙・連絡帳)を各クラスに配置
-

添付資料(必要に応じて追加)

- アレルギー指示書(医師記入用)
- アレルギー児対応リスト(園内掲示用・職員室用)
- 献立別アレルゲンチェック表(調理室用)
- エピペン使用マニュアル(イラスト付き)
- アレルギー発症・対応記録用紙(テンプレート)